

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成29年2月定例会の内容をお届けします。

2017
No. 58

平成29年5月15日発行



特集

川越し街道を
愛する会
&
市議会

特集

川越し街道を 愛する会 & 市議会

島田宿大井川川越遺跡が残る
河原町界隈で土・日曜日、祝日に活動する
「川越し街道を愛する会」の
皆さんにお話を伺いました。



川越し街道でおもてなし中

川越し街道の歴史・文化・まちづくり

「^{ばんやど}番宿」は人が利用してこそ価値があるのでは

江戸時代に架橋や渡し船などが禁止さ

れていた大井川。川を渡るためには、川
越人足に肩車してもらうか、連台（れん
だい）に乗らなければなりませんでした。

川越しの料金所（川会所）や川越人足
の待合所（番宿）の遺跡が残る河原町の
川越し街道で活動している「川越し街道を
愛する会」の皆さんにお話を聞きました。

《どのような活動をしていますか？》

川越し街道を訪れてくれる人たちのため
に、ひな人形や七夕など、季節ごとの風
物で町並みに飾り付けをして、楽しんで
もらえるようにしています

また、土・日曜日、祝日には「芭蕉庵」
という店を開いて、「江戸コーヒー」や甘
酒などでおもてなしをしています。

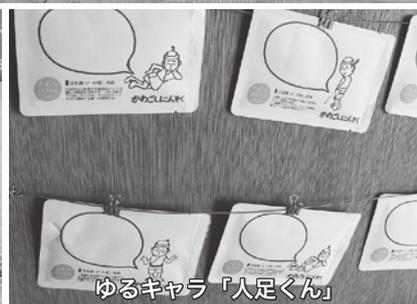
《やりがいを感じるのとは？》

川越し街道は全国各地から人が来る場所
です。昔ながらの街並みに私たちが飾っ
たひな人形などを見た観光客が驚いたり
喜んだりしている姿に、やりがいを感じ
ています。

《課題は何かありますか？》



番宿に飾られたひな人形



ゆるキャラ「人足くん」



人手不足や高齢化が課題です。

また、ボランティアで会を運営している
ので、平日の活動は休みです。平日にら
れる観光客もいますが、限界があります。

《PRポイントは?》

ゆるキャラ「人足くん」をデザインし、
「芭蕉庵」で販売している携帯みそ汁やお
茶に描かれています。他に、「江戸コー
ヒー」なども販売していて、市民や観光
客と交流できるのも魅力です。

《行政・市議会に一言お願いします。》

「(市所有の)番宿は文化財」という観点
から、施設の使用に制限があります。し
かし、番宿を単に展示物として捉えるの
ではなく、人が利用してこそ価値がある
と思います。広く門戸を開いて、誰もが
多目的に利用できるよう工夫して欲しい
です。「仲間の宿」の裏庭にある小屋につ
いても活用方法を提案したいです。

また、川越街道を通過する自動車のス
ピードがかなり出ていて怖いです。ス
ピードが出ないように道路にデコボコを
つけるなど工夫して、歩く人の安全に配
慮した街道にして欲しいと思います。

取材中にも街道を見に来る人は多く、
おもてなしに忙しい中、時間を割いて
いただきました。ありがとうございました。

定例会 の 概要

平成28年度一般会計補正予算ほか可決

一般会計6億1714万4000円を増額

平成29年度当初予算 全会計759億8423万円 可決

平成29年第1回定例会が、2月15日(水)から3月24日(金)まで、38日間の会期で開催されました。

2月15日(水) 本議会初日 10議案上程

平成28年度会計補正予算(一般会計1件、特別会計3件)のほか、6件の議案が上程されました。また市長専決処分による報告2件がありました。

2月16日(木)～17日(金) 常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会を半日ずつ分散開催し、平成28年度補正予算の議案審査を行いました。

(8～10ページ)

2月24日(金) 本会議 10議案可決・24議案上程

15日に上程された10議案を全て可決しました。続いて、平成29年度当初予算(一般会計、特別会計8件、企業会計2件)、条例改正8件、一般議案5件の計24議案が上程されました。

3月6日(月)～8日(水) 本会議一般質問 議員17人が登壇

4会派の代表議員による代表質問と、議員13人による個人質問を行いました。

(11～19ページ)

3月9日(木) 本会議議案質疑 議員8人が登壇

議員8人が登壇し、議案の詳細について市当局に質問しました。
Pick up 1～4と、「これに注目！」へ(6～7ページ)

3月10日(金)～14日(火) 常任委員会新年度予算等議案審査

各常任委員会を一日ずつ分散して開催し、平成29年度予算等の議案審査を行いました。

(8～10ページ)

3月24日(金) 本会議最終日 追加議案上程 議案可決

3常任委員会での審査内容と結果が報告され、討論の後、全議案が可決されました。

(20～21ページ)

なお、一般会計予算については、附帯決議が付されました。

(21ページ)

また、市長専決処分による報告2件、議案1件、諮問1件が追加上程され可決されました。

このほか意見書1件を採択し、国会などに送付しました。

(21ページ)

Pick up 1

放課後児童クラブの運営は？

Q 市内19カ所の放課後児童クラブの入所見込み人数と、待機児童の現状はどうか。

A 定員は867人で、820人の入所見込みである。学区によっては待機児童が見込まれ、その人数は31人である。

Q 待機児童対策はどうか。また、児童クラブによっては定員をオーバーしている。その管理や、職員の資質向上対策はどうか。

A 新たに施設を造る予定はないが、現在の施設の定員の拡大をお願いしていく。職員には、研修を受け資格を取得させている。

Pick up 2

光ファイバ網整備事業とは？

Q 事業者選定の経緯を伺う。

A 整備可能地区や事業費の提案を示し、1カ月間の公募の結果、(株)OKAケーブルネットワークから応募があり、審査の結果、適当であると判断され選定した。

Q 今回の予算で整備できるエリアは。

A 平成29年4月に事業認定申請を行い、補助金の交付決定を受けて整備範囲が決まる。

Q 今回整備が実施できなかった地域の対応は、どのようにするのか。
A 引き続き費用等を精査した上で、必要な支援をしていきたい。

Pick up 3

音楽施設整備事業の内容は？

Q 音楽施設整備事業の内容を伺う。

A 旧市民会館の一部を補完することを目的に、「びくファイブ」1階の半分を借用し、音楽やダンスなどを楽しめる部屋を3〜5室作りたい。具体的には今後検討していく。

Q 施設の利用予測と成果目標をどのように設定しているか。

A 中心市街地の活性化をしていくうえで重要な施設で、音楽を楽しむ場所がないという声に答え、防音対策が施されている施設の特性を生かした整備をしていきたい。利用予測や成果予測は、今後詳細を決めながら設定していきたい。

Pick up 4

しまだ大井川マラソン in リバティの経費は？

Q マラソン大会の実施計画における経費変更の理由は何か。

A 年々経費が増大していること、各地で大会が増えており、参加者を獲得できるよう魅力ある大会にするために参加費を千円増額した。

Q 参加料を上げること、むしろ市外から人を呼び込もうとすることに逆行するリスクがあると思うが。

A 他地区の大会は島田市より参加費が高い。参加費は上がるがサービス内容を充実させることで、参加者にとって魅力を高めることになると考えている。

これに注目!!



平成29年度 島田市会計予算を可決しました

新市民病院建設と新東名インターチェンジ周辺開発事業が始動!

一般会計予算

366億1,000万円

(前年度比2億7,700万円増)

総額予算

759億8,423万円

平成29年度に行う事業の予算案が市長から議会に示され、3月10・13・14日の3日間に開催された3つの常任委員会で審査した結果、「可決すべき」と決しました。(P8~10)

これを踏まえ、3月24日の本議会最終日に予算案が原案どおり可決されました。その一部を抜粋し紹介します。

総務費 39億1,342万円

光ファイバ網整備事業	1億8,000万円
コミュニティバス運行管理経費	2億4,356万円
ICT推進プロジェクト事業	1億448万円



光ファイバ網 (イメージ)

光ファイバ網整備事業

大長、伊久身、北五和、^{ごか}川根地区などの未整備地区に超高速ブロードバンド環境を整備します。

土木費 40億7,181万円

新東名島田金谷インター周辺開発事業	7億2,057万円
道悦旭町線改良事業	1億3,453万円
橋りょう長寿命化修繕・耐震事業	2億8,120万円



橋りょう長寿命化修繕

橋りょう長寿命化修繕

市内にある橋りょう等に計画的に修繕を加えインフラの長寿命化を図っています。

※千円以下切り捨て

民生費 126億1,665万円

民間保育所施設整備助成事業	9,529万円
認定こども園施設整備助成事業	5億3,621万円
放課後児童クラブ施設整備事業	2,448万円



六合小学校区放課後児童クラブの様子

放課後児童クラブ施設整備事業

第一小学校区の増設工事、第五小学校区の増設工事実施設計を行い、年度内に120人以上の定員の拡大を実現します。

農林業費 10億4,303万円

経営体育成支援事業	1,267万円
農道整備事業	4,143万円
茶販売促進事業（新規）	118万円



都内での期間限定アンテナショップ（渋谷ロフト）

茶の販売促進事業

都市部の商業施設への出店やアンテナショップなどの企画を進めます。

教育費 37億1,516万円

田代の郷整備事業*注（新規）	800万円
南部学校給食センター改修事業	1億2,431万円
島田第四小学校改築事業（新規）	3,300万円



現在の島田第四小学校

島田第四小学校改築事業

校舎と屋内運動場の改築に要する経費で基本設計業務・土質調査を行います。

商工費 6億6,134万円

蓬萊橋お休み処 ^{どころ} 整備事業（繰越事業）	9,250万円
企業立地促進事業費補助金	1億2,860万円
オリンピック・パラリンピック合宿誘致経費	386万円



現在の蓬萊橋の番宿

蓬萊橋お休み処整備事業

地方創生拠点整備交付金を活用し、蓬萊橋に物産販売所等を整備。地域経済の活性化を図ります。

特別会計 225億5,710万円

国民健康保険事業特別会計	110億1,027万円
介護保険事業特別会計	84億5,908万円
後期高齢者医療事業	11億2,427万円
その他5特別会計	19億6,348万円

企業会計 168億1,712万円

水道事業会計	16億3,360万円
病院事業会計	151億8,352万円
新病院建設事業費	4億3,366万円

*注 田代の郷整備事業経費では事業の説明が不十分として進捗状況を適宜報告することを求める附帯決議が付け加えられました。

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があり、議員は必ずいずれかの委員会に属し、議案審査に当たります。2月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

田代の郷整備事業に附帯決議

事業内容を市民、市議会に説明・報告を

平成28年度 一般会計補正予算

●高齢者施設等の防犯対策
設備設置事業

●事業概要は。

A 昨年、県外の障害者施設で事件があった。そういう事件を高齢者施設でも未然に防ぐため、5施設に防犯カメラを設置する。

平成29年度 一般会計予算

●市民後見人養成事業

●事業の概要は。

A 一般市民に成年後見人になってもらうために、志太3市で連携して市民後見人を養成する事業である。

●子どもの貧困対策

●実態調査事業

●どのように行うのか。

A 実態調査は小・中学校で2または3学年を対象として、家庭の経済状況や困っていることは何かと、このことをアンケートで答えてもらう。国の相対的貧困率と比較することで、島田市の状況把握ができる。

●認定子ども園施設整備助成事業

●保育事業はどの程度改善されるか。

A 今回3カ所の幼稚園に助成する。新たに開設される保育部の総人数は194人で、特に待機児童の多い低年齢児は63人である。

●田代の郷整備事業

●整備後の来訪者数を8万人と見込んでいる根拠は、また確認は。

A ほぼ同規模である掛川市「22世紀の丘公園」の遊びの里エリアの実績を目標としている。また、遊具については市内にないものを考えている。

A インターネットの無料サイトなどでPRもできる。8万人は見込めると考えている。

●附帯決議

委員より平成29年度一般会計予算の「田代の郷整備事業」について附帯決議が出され、委員会を通して本会議に提出することを賛成多数により決した。

※田代の郷整備事業費には測量設計、施設実施設計(遊びのエリア)の予算が含まれている。



田代の郷整備計画案イメージ

ぴ〜ファイブの音楽施設整備事業は、 事業根拠を明確に！

平成28年度 一般会計補正予算

●蓬萊橋お休み処整備事業

Q 次年度に繰り越す事業の内訳は。

A 物販所、トイレ、番小屋の機能を持つ建物、石碑の移設、舗装・外構工事、備品購入などである。

平成29年度 一般会計予算

●多面的機能支払交付金事業

Q この事業は農道を整備するもので、市道の整備には事業費が使えない。解決策はないか。

A 市道は交付税対象のため使えない。承認が得られれば、一時的に市道認定を外しても良いと思う。

●音楽施設設置整備事業

Q 施設整備を予定しているぴ〜ファイブ1階の天井液漏れの費用負担は。

A 建物自体には手をつけないうが、支障があるようなら、今後協議をする。

Q フロアの半分ではなく、全体を整備しないのか。

A 検討はしたが、費用面で断念した。

Q 施設利用の見通しは。これから利用者の分析をしたい。

A 利用料は徴収するの。他の公共施設を見ながら利用料を算定する。

●マラソン大会開催経費

Q フルマラソンの参加費を値上げし、新たなサービスを行うが、金券配布などで不公平感はないか。

A 10キロコースの参加費はもともと他地区より高めである。金券配布以外でのサービス改善もあり問題は無い。

Q 1000円の参加費値上げで、参加人数が減るのでは。

A 受付期間が延びる可能性はあるが、大きな変化はない見込みである。

●内陸フロントティア推進 区域整備事業

Q 整備に伴い、河川敷内の施設に影響はないか。支障が出ないよう、道路の設計を行っている。

●賑わい交流拠点整備事業

Q 日本一のマルシェを作るとのことだが、敷地が狭すぎるのでは。

A 第1期計画では現在の面積を進めて行く。今後の



「賑わい交流拠点」施設の全体計画

計画で拡張を目指したい。

農業委員会の委員 および農地利用最適化 推進委員定数条例

Q 農業委員19人、農地最適化推進委員14人だが、混乱はしないか。

A 県内市町と連携し、より良い方向性を目指し、農業委員とも協議をしたい。

自治基本条例の制定は市民に理解の上で

平成28年度 一般会計補正予算

●公共施設マネジメント 実施経費

Q 旧市民会館の機能の再生をどのように進めていくのか。

A 再生後の管理運営費を含め、財政負担の軽減、施設サービスの維持向上を効果的かつ効果的に行う



平成29年2月から駐車場となっている市民会館跡地

手法としてPFI事業という民間資金による整備運営の導入可能性を調査する。

●ふるさと応援基金費

Q ふるさと寄附金の市民税への影響額は。

A 寄付額と経費および住民税控除額の差額は、平成27年度は766万円下回り、平成28年度は約350万円上回る試算である。

平成29年度 一般会計予算

●第2次総合計画策定事業費

Q 策定スケジュールは。
A 審議会等を5回程度、ワークショップを市内7地区に分けて2回程度開催し、11月に議案を提出する予定である。

●自治基本条例制定事業費

Q 制定をどのように進めていくのか。

A 新年度に議会へ前文・本文を説明後、パブリックコメントを実施し修正を加え、制定委員会で決定後最終条例案を事前説明し提出を検討する。提出時期については、十分に精査する期間を取れるよう検討していく。

自治基本条例について反対を唱える市民に対しては、最高規範性、市民の定義、住民投票などが理由と考えられ、地方自治法に沿った形で個別に対応していく考えである。

●個人番号カード交付事務費

Q 個人番号カードの発行状況と、新たに始まった住民票等証明書のコンビニ

交付の状況は。

A 総人口の7・6%に当たる7623枚が交付され、コンビニ交付はサービス開始の1月6日からの累計で143件である。
(2月28日現在)

●一般廃棄物最終処分場運営経費

Q 外部委託の内容は。

A 川ざらい等で発生する土砂は、河川等清掃事業費を増額し外部委託する。田代環境プラザからの処理灰は市内の神座興産(株)と三重県の三重中央開発(株)に使い分けを考え委託する。

●平和都市宣言啓発事業費

Q 本年度の啓発事業の内容は。
A 平和都市宣言パネルを作成し、小・中学校に配布し、常時掲示してもらい、啓発していく。

市長に質す！^{ただ}

一般質問

Q&A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に質問することを「一般質問」といいます。

島田市議会の一般質問は、年4回の定例会で各議員による「個人質問」を実施しています。これに加え、2月定例会に限り会派の代表者による「代表質問」を実施しています。

あなたが興味を持った質問はありますか？

一般質問は2方式から選択

- ①包括方式……議員がまとめて3回まで質問を行い、市長等もまとめて答弁を行います。代表質問では40分以内、個人質問では30分以内で質問を行います。
- ②一問一答方式……議員の質問と市長等の答弁を、一対一で行います。代表質問では60分以内、個人質問では50分以内で質問と答弁の双方を行います。

《本会議の動画は、インターネットの録画配信で！》

島田市議会 映像

検索



パソコンでも、スマートフォンでも見ることができます。

代表質問

はじめよう
島田市郷土強靱化計画^{きょうじゅん}



桃李の会
すぎの なおき
杉野直樹 議員

Q 隠された災害を発見するためにどのような取り組みが必要か。

A 1つ目は、国内で発生した災害は本市でも起こり得るとの認識のもと、科学的データに基づく調査研究を行い、本市の特性、実情に応じた災害発生メカニズムを解明することである。

2つ目は、災害発生メカニズムを参考に組織的な情報収集、現地調査と分析評価を継続して行い、これらに関係者で共有することである。

3つ目は、行政はもとより地域の防災力を合わせ危機事態への対応力を総合的に点検評価することである。

Q 記憶に新しい例では、博多駅前

の道路が崩落した事故があったが、あのような事故は島田市においても起こり得る事故なのか。

A 今の島田市の実情としては、極めて起こりにくいですが、ゼロではない。例えば、河川の堤防の護

岸下が洗掘されて陥没し穴が空いた、ということはある。

Q 隠された災害を発見するために

は、危機管理部を中心とした庁内でのネットワークを形成し、常にさまざまなことに目を配り、危険に対する意見交換をする必要があるのではないかと思われる。そこで提案するが、そのような会議を定期的に開くことは可能か。

A 非常にいいご提案をいただいた。来年から実行していきたい。



↑ 国土強靱化基本計画
強くて、しなやかな
ニッポンへ



国が推進する国土強靱化計画ポスター

代表質問

「確かな未来」を築くために！



きょうどう島田 紅林 買 議員

Q 市長が掲げる「確かな未来」のイメージはどのようなものか。

A 市民が夢や希望をかなえることができるまち、将来にわたって持続可能なまち、確かな未来へとつながっていく環境、健康、子育て・教育、危機管理の取り組みを4つのアプローチとし、平成29年度の重点施策として位置付けた。この4つのアプローチは、策定作業を進めている第二次島田市総合計画に「確かな未来」として確実に引き継ぐ。

Q 大型事業などの施策を実施しながら、財政の今以上の健全化にどう取り組むのか。

A 新病院建設事業や新東名島田金谷インターチェンジ周辺開発事業の2大プロジェクト以外にも、実施計画に搭載した事業を着実に推進したいと考えている。財源の確保は、国・県などの補助制度を効果的に活用していく。事業によって形成した資産がもたらす便益は将来世代に及ぶこ



ますます重要な財政の健全化

Q 茶業振興室を設ける狙いは何か。

A 島田市の基幹産業である茶業が厳しい状況に置かれている。生産基盤の強化や、茶業経営の合理化、消費拡大を推進するため、組織を強化していく。

代表質問

2025年問題
在宅介護の支援体制



こしまだ 村田千鶴子 議員

Q 団塊世代が医療・介護ニーズの高い後期高齢者となる2025年をめぐり、在宅介護を支援する生活支援体制の整備が不可欠である。介護家族に対する経済的、精神的支援策は。

A 地域包括支援センター（市内6カ所）が、家族支援の中心的な役割を果たし相談に応じている。家族介護用品支給事業や家族介護者交流事業を実施している。

Q 在宅療養が進めば、がん患者に対するケアも必要である。市民病院内に緩和ケア科の復活を。

A 専門医師の招聘は大変難しい。高齢者の移動手段の確保に、県タクシー協会で実施中の免許証返納者料金割引の上乗せ助成を。

A 来年度以降、地域・期間を限定し実証実験を行っていきたい。

「プレイパーク」の設置を

Q 一人遊びが多く外遊びが少なくなった昨今、球場東側の緑地公園等を活用し、遊びのプレイリ



横井運動公園内児童公園

Q 地域包括支援センター（市内6カ所）が、家族支援の中心的な役割を果たし相談に応じている。家族介護用品支給事業や家族介護者交流事業を実施している。

A 地域が主体でないとできるものではない。人材の確保が課題と考えるが、協力はしていきたい。

Q 団塊世代が医療・介護ニーズの高い後期高齢者となる2025年をめぐり、在宅介護を支援する生活支援体制の整備が不可欠である。介護家族に対する経済的、精神的支援策は。

A 地域の方々が中心で行いたいのであれば、支援していきたい。地域の課題に即した子どもの居場所づくりに、公会堂を活用（モデル地区）する考えは。

代表質問

求められる行政改革と 住民サービス



創造島田
やぎのぶお
八木伸雄 議員

Q 市民税の大幅増収を見込んでい
るが、市民生活はどうか。

A 実感としては、それほど上がっ
ていないと感じる。

Q 総務省の調査によれば、昨年の
時点で、実質賃金はマイナス4
%だ（3年間で）。給料より、税
金・物価の値上がりの方が大き
い。無駄をなくし行政サービス
を充実すべきだ。使途が不明の
政策推進費があるが、何か。

A 当初予算で想定できない事業が
必要になった際、裁量で使える
1000万円を計上した。

Q 市長が代わり、新たな部を2つ
増やしたが、一方で職員のモチ
ベーションが低下しているので
はないか。2つの公民館にも職
員を増員配置したが、なぜか。

A 市役所と地域をつなぐためだ。
市長になる前から考えていた。

Q 経費を削減した部署に予算を増
額するインセンティブ予算があ
る。削減は当然のことと思うが、
職員の意識を高めるためだ。

Q 市民にはコミバスの見直しや、
すぐやる課の減員など厳しい。
市民サービスの低下だ。

A コミバスは、公平性を考えての
ことだ。すぐやる課は、今後も
しっかり対応する。

Q これまでも主張してきた。市内
業者にできる仕事は、全て市内
業者に発注すべきだ。

A 原則市内に発注するよう、職員
に周知をしている。



市内発注が望まれる消防自動車

個人質問

島田市の将来 このままでよいのか



あおやまさとら
青山真虎 議員

Q 方針や将来像は持っているか。

A 安全安心で、稼ぐまちである。
Q 次期総合計画の将来像は何か。

A 「笑顔あふれる安心のまち」であ
る。

Q コミュニティバスの路線・時間
帯変更で困っている人が多数で
ている。安全安心と言えるのか。

A 市民意見をまとめて対応するの
は難しい。

Q コミバス支出3000万円削減
や小学生の体験学習参加費を7
倍にするなど、子どもや高齢者
から税収を上げる手法でよいのか。

A 応分負担をいただく。適正化だ。
Q 川根の足湯をやめてしまったが
高齢者の憩いの場だった。福祉
に強いまちと言えるのか。

A 足湯は観光客のためで利用者は
ほとんどなかった。
Q 敬老会の開催の助成経費だが、
補助対象を今の75歳から80歳に
引き伸ばすのはなぜか。



子どもや高齢者に正直な政治が必要です

個人質問

雇用の確保・
勤労者福祉の充実を



ふじもとよしお 議員

Q 総合計画の進捗を把握するために行った市民意識調査を、どのように評価しているか。

A 満足度が低く重要度の高いエリアに産業振興が含まれており、今後の課題であると考えます。

Q 産業振興中「魅力ある商店街づくり」「雇用確保・勤労者福祉の充実」は総合計画では目標達成の見込みだが、市民満足度は最低レベルだ。その差は何か。

A 目標値の設定に問題があった。

Q 市民意識を向上させる上で市民からの要望は重要だ。勤労者からの「教育や住宅取得に対する利子補給の支援要請」に対する回答に乖離が見られる理由は。

A 勤労者の福祉対策で一部の人に利子補給することについて、検討する余地があると考えている。中古住宅購入助成を、利子補給に代わる制度として位置付けた新築を望む勤労者実態から見て魅力に欠けると思うが、どうか。国は中古住宅にシフトしている。

Q 中古住宅支援は、年5〜7人のための予算だ。公平性はどうか。

A 新しい制度を作り、空き家対策をしていきたい意識の表れだ。

Q 雇用や勤労者福祉を市の最重要課題と位置付けるのなら、総合計画にも位置付けるべきでは。

A 魅力あるまちであり続けるため、住宅利子補給以外の教育・子育て支援を、市の重点施策としていきたいと考えている。

Q コミバスの見直しによって、田代の郷温泉線の稲荷町・河原町から田代の郷へ行くバスがなくなった。これは利用者の切り捨てではないのか。

A 公共交通のバスの運行という観点から、利用者が少ないところに大きな費用は投入できない。

Q 今、旧市内は静鉄ジャストライオンが運行しているが、他の事業者には任せることはできないか。例えば、タクシー業界とかにお願いして、自主運行バスを走らすことはできないか。

A 今後、従来のバスにこだわらず、柔軟性の高いタクシーということも考えていく必要がある。

Q 稲荷町、河原町、向谷からの田代の郷温泉線を、いつ復活してくれるのか。

A いつということでは明言できないが、平成30年度以降になるのではないかと考えている。

個人質問

コミバスの見直しは
いかに？



ふくだただし 議員

補助金の見直しはいかに？

Q 補助金は、行政の全般にわたりその代行や補完の役割を果たし、行政の効率性の上から有利な制度である。しかしながら、それが既得権化し漫然と継続しているのではないのかという批判がある。ゼロベースで見直す考えはないか。

A 事業の公益性や有効性についてPDC Aサイクルを踏まえ見直している。



住宅取得の負担軽減は勤労者の切実な願い



コミバスの利用者の切り捨ては御免だ

個人質問

進む、認定子ども園化！



ひらまつよし のり 議員

Q 今年度、島田市の幼稚園は2070人の定員に対し1424人で、646人の定員割れを起している。新たな保育園建設で負のスパイラルに陥らないか。

A 負のスパイラルとは考えない。六合幼稚園が認定子ども園化しても、旧六合公民館跡地へ保育園を建設するの。

Q 六合幼稚園が認定子ども園化しても、旧六合公民館跡地へ保育園を建設するの。

A 六合幼稚園が認定子ども園化すれば、旧六合公民館跡地への保育園建設の必要はない。

A 六合幼稚園が認定子ども園化すれば、旧六合公民館跡地への保育園建設の必要はない。

JR 栃山踏切の拡幅決定

Q 地域に活力を与え発展させ基本的な住民の福祉の向上を図るには、基礎のインフラ整備は最重要課題である。谷口道線はどのような計画になっているか。

A 東光寺インターチェンジから富士山静岡空港を結ぶ重要な路線で、混雑時の自転車・歩行者の安全確保が必要であると認識している。今年度は測量と予備設



東海道本線栃山踏切の拡幅決定

計を実施し、来年度は東海道本線栃山踏切の改良に伴う協議をJR東海と進める。

Q 六合駅前広場の整備予定はどうなっているか。

A 今年度は南口トイレ改修を行っている。路面標示も進めている。

Q 六合駅前広場に雨よけシェルターを設置できないか。

A 設置を検討していく。

個人質問

有効活用できる土地がある



よこたがわまさ と 議員

Q 新東名や国道一号の高架下の有効活用を考えているか。

A 金谷の3自治会から多目的広場にしたいという要望がある。使用に当たっての条件は。

Q 橋脚の保護・落下防止の安全装置・日常点検等がある。

Q 占有に当たっては、市が間に入って話をしてくれるのか。

A 話ができればパイプ役となる。

Q 大井川河川敷はどのように考えているか。

A 蓬萊橋周辺整備を計画している。また「かわまちづくり」という国土交通省指定の事業を進めていく考えがある。

Q 牛尾山開削事業に伴った河川敷利用は考えているか。

A 「かわまちづくり」で、将来的に牛尾山周辺も計画に取り込むことを考えている。

Q 旧コンコルド跡地の活用は。

A 市街地の賑わいに繋がるものを民間の活力を使って整備したい。

Q 望ましい賑わいとは何か。

A 人の流れが生まれる小売や飲食店を考えている。

Q 市有林は整備していると思うが、民間所有の山の整備はどうなっているか。

A 個人での保全が行き届かない中、市でも補助金を出している。

Q 民間の山を借りて公園等の整備は考えられないか。

A 全国的にもフォレストレジャーがある。川根で検討している。



新東名下には広い土地がある

個人質問

「大井川水返せ運動」の
活力を今



おおいしげつお 大石節雄 議員

Q 塩郷堰堤(ダム)の水利権更新状況の取り組みについて伺う。

A 河川流量の回復を目的とした取り組み等は、現在、川根本町・島田市では行っていない。

Q 2年後の水利権更新に向けて、今から取り組むべきでは。

A 早い段階から関係団体と情報の共有を図り、必要に応じて協議をする必要がある。

Q 28年前に水が返ってきた大井川の自然環境と水質は大丈夫か。

A 市では、大井川の3カ所で水質検査を行っている。良好な水質が保たれている。

Q リニア中央新幹線トンネル工事に伴い、大井川の減水、水質の悪化などが心配される。

A 現在、県が環境影響評価を実施している。JR東海の流量変化の対応は不十分であり、「常に」ポンプアップすることを要請している。また、流域市町と歩調を合わせ、住民説明会の開催や不測の事態に備えた協定の締結



リニア中央新幹線トンネル工事残土置き場

を求めている。

Q 過去の「水返せ運動」では、住民の力によって国、県、中部電力を動かした。利水自治体8市1町の皆さんに声をかけ、市民大会を開催することは考えないか。

A JR東海が協定締結を認めない事態が発生した場合には、当然そうした市民大会を含めた大規模な活動というのは必要になってくる。

個人質問

迅速かつ市民参画の
予算執行を！



しみずただし 清水唯史 議員

Q 事業着手から4年が経過し、整備方針が変更された田代の郷陸上競技場予定地の概要は。

A 遊具を整備する遊びのエリア、家族連れを対象とする憩いの芝生広場および多目的スポーツレクリエーションエリアを、今後4年間に利用が予想される市民からの意見を聴取しながら、約3億円の事業費で整備する。財源は合併特例債、スポーツ振興くじ助成金を検討し、年間利用予測数8万人を目標とする。

Q 着手から整備まで8年間も経過することに對して再考はないか。

A エリアごとに多年度にわたることとは、工事中の安全に問題があることや工事コストの口スガが考えられる。初年度で全体の方針の調整や各エリアの意見聴取を実施し、事業整備期間の短縮を努力していく。



新たに整備される田代の郷

多くの市民の声を実行に

Q 熱い市民が集まり開催されている第2期ゆめ・みらい百人会議に期待することは。

A 第2期は36人と少人数であるが、成果発表会を開催し新たな活動への契機、人材育成を目的に進めていきたい。

Q 公募型以外に、無作為抽出型の市民参画を考えないか。

A 各種市民参加の手法を考え、市民の発想による改革・改善策を取り入れていきたい。

個人質問

ICT積極活用で
市民サービス向上



いとう たかし 議員
伊藤 孝

Q コミュニティバスのバスロケーションシステムは、どのように計画をされているのか。

A 29年度導入予定だが、具体的な内容はこれから詰めていく予定である。バス利用者がスマートフォンなどを利用して、バスの車両の位置・時刻・ルート検索が可能となるものになりたいと考える。

Q 中河の東中瀬工業用地整備がなかなか進んでいないが、今後の方向性はどのようになっているのか。

A 予定区域3ヘクタールを一気に整備をすることは非常に難しい状況になっている。1ヘクタール分だけでも、まず先行して整備ができないか検討している。

を実施していきたいと考えている。

初倉地区の振興について

Q 道路整備の計画内容は。

A 舗装の改修事業は、経年劣化が著しい中河南原線を平成29年度から新規事業として行う。また、大型車の交通等により劣化が進んでいる井口大柳線、幡中線等についても、今後計画的に改修



便数をカバー！？ バスロケーション

個人質問

文化振興マスター
プラン策定を！



もり しんいち 議員
森 伸一

Q 新市民会館の建設について、どう考えているか。

A 旧市民会館の機能再生については市役所周辺整備検討委員会において総合的に協議検討を行っており、今後策定する第2次島田市総合計画に位置付けていく。

Q 解決策として対応する。ぴ〜ファイブ1階に音楽施設を整備するとあるが、その内容は。

A 元遊技場の部分の半分をいくつかの部屋に区切り、音楽練習室として貸し出す。

Q 新市民会館ができるなら、その機能を使って、多くの市民が参加する文化活動をどのように進めていくかを決める文化振興マスタープラン策定委員会のような委員会を作るべきだと思うが、どうか。

A 必要だと考えているので、来年度は基本的計画に向けた準備作業というところから入りたい。

Q 時間、貸し出し料金、駐車料金など、どんな計画か。

A 詳細は未定だが、利用時間は夜11時ぐらゐまで、料金はおおるり練習室等の使用料を参考にする。

Q プラザおおるりホールの予約希望日が重なり、利用者が確保に苦勞している。その解決策は。

A 市民文化祭の日程を調整する。島田市が主催する行事等についての日程・場所の変更やよく利用する団体にアンケート的なものも検討してほしいが、どうか。



運営・理念がすごい可児市文化創造センター

個人質問

新市民病院周辺の諸問題



さの よしはる 議員

Q 新市民病院建設に伴う周辺の交通緩和策を伺う。

A 県道伊久美元島田線(病院西側)に、新病院進入口となる交差点まで右折帯を設ける。さらに、大津谷川左岸の千歳橋から高橋間、430メートル区間の拡幅をする。幅員は道路設計の中で決める。

Q 薬師寺前から現在の病院入口への東西道路は渋滞が恒常的だ。この道路の拡幅はできないか。

A 病院開設後に様子を見て考える。

Q 新病院へ進入する中央公園方面から県道への出口は、見通しが悪く危険だ。手立てを伺う。

A 隅切りを拡幅するなど見通しの良いようにする。

Q 市民病院周辺は、これまで繰り返し浸水被害があり、不安を感じている。大雨対策を伺う。

A 大津谷川高橋脇の水門を手動操作から自動制御に変える。

Q 水門改修や調整池の設置で、どの位の雨量に耐えられるか。



新市民病院外観 (イメージ)

A 50年に一度、時間単位122ミリメートルまでの降水量に対応できる。

Q 周辺整備事業の総額と駐車場は有料か、無料か伺う。

A 総額は5億円強。駐車場は無料。

Q 新病院の周辺に、医療とか福祉機関を集積した新たなまちづくりはできないか。

A 第2次総合計画や国土利用計画の中で議論を重ねる。

個人質問

二度と洪水を起ささないために



やまもとたかお 議員

Q 金谷地区の住民は大代川による水災害を何度か経験してきた。一つの心配は、川には一面アシが繁茂し水の流れが見えない。特に、国道一号バイパス橋の下は、土砂も堆積し流れを妨げている。どうするのか。

A 市は、県土木事務所等にはいろいろな形で要請していく。県はバイパス付近について年次的に整備していく計画である。

Q もう一つの心配は金谷小学校・金谷高校周りの地域が浸水することだ。なぜ浸水するのか。

A この地域は河川の傾斜が緩やかで、勾配がないことだ。

Q それではどう対処するのか。

A 遊水地を造るとか、接続河川の流下能力を検証しそちらに負荷をかけるなどの洪水の調整を図っていく。また、浸水する住宅には浸水対策の補助金制度も研究する。

将来の財源確保は何か

Q 今後、地方交付税の減額が見込まれている。自主財源を増やすのにどんな施策に力を入れるのか。

A 産業の活性化、雇用創出や、移住定住政策の取り組みである。

Q この取り組みの成果が出たとすれば、歳入にどのような形で数値に表れてくるのか。

A 市民税収入の個人所得割と法人は法人割の数値が上がってくる。



一面にアシが繁茂している大代川

個人質問

市議会と執行機関の役割とは？



なかだゆうこ 議員

Q 二元代表制での市議会の使命の一つは、市民の立場を代表し執行機関を監視することであるが、どう考えるか。

A 議会とは、執行機関である当局と役割は異なるが、市政運営の両輪として互いに協力していきたいと考える。

Q 新東名の島田金谷インターチェンジにETC2.0※を考えていると聞きましたが、可能性を問う。

A 国も興味を示している。今後の「賑わい交流拠点」の進捗によるものと考ええる。

Q 大井川鐵道新駅に対する市の支援も含め、現状を問う。

A 基本計画の中で大井川鐵道株も前向きに考えているが、市に対して支援の話は一切ない。

Q 今後、農振除外認可後の内陸フロンティア推進整備事業では、整備組合を作るのか。

A 組合は作らず、個々の地主に土地買収を要請する。

Q 3つのゾーンの乱開発防止のため、特定用途制限地域の指定を

め、前回答弁があったが。すると、前回答弁があったが。

A 堤間と牛尾山は、工業用地の用途をかけていきたいと考えるが、県と協議中だ。

Q 新規の茶販売促進事業の内容は。横浜の物産展で年6回販売を予定している。シタイプロモーシヨンの意味合いも含め、お茶だけでなく旬の物も販売する。

※ETC2.0とは
従来のETC機能に加え、渋滞回避や安全運転支援などの情報を提供する新しいサービス



議場・一般質問での様子

個人質問

今こそ 高過ぎる国保税の引き下げを



さくらいゆうこ 議員

Q 平成30年度から、国民健康保険を県と各市町が共同で運営する広域化が始まる。県統一保険料となり、国保税の引き上げにつながるのではないか。

A 県から示される事業費納付金や標準保険料を参考にして、保険税率を決めていく。急激な税率の変更というのは混乱を招くと考えるが、現時点では未定だ。

Q 県納付金は100%納付が義務付けられる。滞納等で不足する分の補いに税率引き上げが必要ではないか。一般会計からの繰り入れや基金の活用で、高過ぎる国保税を引き下げべきだ。

A 引き下げのための一般会計からの法定外繰り入れは考えていない。基金は、療養費や納付金の不足に活用していく。

生活困窮者の自立支援を

Q 生活困窮者には、失業、収入低下、税金の滞納や借金など抱えている問題が多くある。自立支援の取り組みはどうか。

A 社会福祉協議会に専用相談窓口を設け、自立生活への計画づくりや支援等を行っている。

Q 生活再建のために、市税等の滞納や多重債務に対応する支援体制が必要だがどうか。

A 滞納情報を通じて生活困窮者を発見し、全庁的に支援する機能、組織の取り組みを進めているところだ。



生活困窮者のための専用相談窓口



ザッ 討論



市議会定例会最終日に議案の採決が行われます。採決の前に、議案への賛成・反対の意見を議員が相互に表明する「討論」を行います。

2月定例会では、3月24日(金)の最終日に2議案について延べ4人の議員が賛成・反対の意見を表明し討論を行いました。

【議案第11号】平成29年度一般会計予算

反対

コミュニティバスのダイヤ変更で、不便になった路線は来年も放置される。敬老会への助成対象を75才から80才に引き上げたり、小学生の体験学習の参加費が7倍になったり。「安心安全」や「子供を真ん中に」など、素晴らしい言葉に「魂」が入っていない。子供や老人から金を取るべきでない。
部長たちも自分の考えはあるのだが、それを言わせない雰囲気がある。早急に改善すべきだ。

賛成

本市の行財政運営については、住民に一番近い行政サービスの提供機関として、社会経済情勢の動向や国・県の施策に適切かつ迅速に対応するとともに、総合計画・後期基本計画に掲げられた事業の実現を目指し、健全な財政運営に努めつつ、事業の重点化を図りながら市民生活の向上を図ることが重要である。平成29年度一般会計予算で執行する諸施策、諸事業についても、質の高い市民サービスと、効率的、効果的な執行に努めることを要望し、賛成討論とする。

反対

- ①官から民へ、コスト削減と称して「かわね保育園」を民営化した。これで市立は第一保育園、第三保育園の2園になったが、臨時保育士が半数を占める。臨時保育士の待遇改善を求める。
- ②市職員のうち4割以上は非正規職員だ。市民全体の奉仕者として、公務に携わる正規職員の増員を求める。
- ③予算の重点は今必要とされている医療、介護、子育て支援に充当し、高校生までの医療費助成、国保税の引き下げ、保育料・給食費の軽減などに配分すべきだ。



金谷地区に導入された新デザインのコミュニティバス

【採決結果一覧】賛成・反対が分かれた2議案を掲載しています

○=賛成 ×=反対	氏名	山本 孝夫	森 伸一	伊藤 孝	紅林 貢	福田 正男	杉野 直樹	横田川 真人	佐野 義晴	仲田 裕子	大石 節雄	村田 千鶴子	平松 吉祝	清水 唯史	八木 伸雄	藤本 善男	青山 真虎	桜井 洋子	
	会派名	きょうどう島田					とうり 桃李の会				さきがけ 魁しまだ		創造島田		無会派				
【議案第11号】 平成29年度 一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
【発議案第2号】 平成29年度一般会計予算に 対する附帯決議		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	

※議長（曾根嘉明）は、採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席順）

「附帯決議」とは？

附帯決議とは、可決された案件に対し、事業を執行する上で議会の意見や要望を表明するもので、法的な拘束力はありませんが、当局はこれを尊重して事業を執行することが求められます。

今回の附帯決議は？

平成29年度一般会計予算に計上された田代の郷整備事業の執行にあたって次の3点に留意するよう、厚生教育常任委員会が附帯決議を提出しました。

1. 議会に対し、事業の内容について十分な説明を行うこと。
2. 議会に対し、事業の進捗状況について適宜報告すること。
3. 事業内容に変更等が生じた場合は、市民及び議会に対し説明を行い、理解を得た上で事業を執行すること。

【発議案第2号】

議案第11号 平成29年度一般会計予算に対する附帯決議

反対

『経過及び内容の説明が不十分』との指摘だが各エリアをイメージしやすいようロープを張るなどして現場説明会を実施してくれた。委員会でも、質問に対し説明を拒んだことも無かった。

『事業そのものが不透明・不明確』との指摘であるが、『田代の郷整備事業』は測量設計のための予算である。測量を行っていない現状では、詳細な計画が出るはずもないし、今後ワークショップを開催し詳細を決定していくとのことである。現在においては十分な説明であったと理解する。

結果

(詳細は20ページの一覧をご覧ください)

附帯決議は **賛成10人 反対7人** によって、附帯決議を付すことに決しました。

※意見書の全文は、市議会のホームページ、市役所の情報公開コーナーでご覧ください。

●精神障害者の
交通運賃割引に関する意見書(要約)

交通機関事業者が障害者の交通運賃割引制度から精神障害者だけを除外することは、「障害者の権利に関する条約」に反している。
精神障害者に身体・知的障害者と同等に割引制度が適用されるよう、指導・勧告等を行うことを強く要望する。

意見書1件を採択しました

地方議会は、その自治体の公益に関することについて、国会または関係行政機関に意見書を提出することができます。
2月定例会では意見書の提出1件について採択し、国会と関係行政機関に送付しました。

特別委員会の

経過を報告しました！



議会改革に関する特別委員会

「充実した議会」を創るために

議会改革に関する特別委員会が過去2力年に引き続き平成28年度も設置され、調査研究を続けました。

その結果を踏まえ以下の報告を行いました。

提言書（概要）

1 議長・副議長の選出

引き続き島田市議会としての、議長および副議長の選出体制の確立に努めること。

2 情報通信機器等の会議への持ち込み

今後も他市の導入状況の調査研究を進めること。

3 予算・決算の審査体制

平成29年度においても検討を重ね、予算・決算委員会の早期実現に努めること。

さらに予算決算の審査体制についても議論を重ねましたが、最終的な結論には至りませんでした。

市議会の特別委員会等で調査研究した案件について、委員長から最終報告がありました。

地域活性化に関する特別委員会

まちの魅力を生かして

本特別委員会は、平成28年6月28日の本会議において設置され、観光に特化した調査研究を行いました。

とめました。この提言は、2月定例会最終日の3月24日（金）本会議で承認されました。

これを受け、同日の定例会終了後、曾根議長から染谷市長へ提言書を手渡しました。

提言書（概要）

- 1 既存の観光施設の整理と発掘
- 2 広報（PR）
- 3 観光資源を結ぶ
- 4 組織の醸成
- 5 民間活力
- 6 観光資源

市外視察では、北海道帯広市の「北の起業広場協同組合」、釧路市の「SLを絡めた観光」の視察を行いました。

委員から出された課題や施策を基に議論を重ね、6つの提言をま

「読みやすく、わかりやすく、 親しみやすい」紙面を

本特別委員会は、3常任委員会と全ての会派から選出された7人の委員により構成され、「しまだ議会だより」のさらなる充実と効果

の検証について取り組んでいます。テレビモニターを使用しての校正作業や、原稿提出・校正作業のやり取りなどにインターネットを利用した無料グループウェアの導入も試みています。

昨年2月からリニューアルした「しまだ議会だより」は、市外・県外の地方議会からも視察を希望する議会がいくつか現れ、中でも甲州市議会は、本市視察後に編集した議会広報紙が山梨県の議会報コンクールで最優秀賞を受賞とのことで、本市にもその吉報が寄せられました。

また、全国から市町村職員が研修に訪れる市町村アカデミーでの議会広報紙編集講座で、「しまだ議会だより」がサンプルに選ばれ、全国から参加した多くの議会事務局員に紹介されました。講師から

もよい評価と共にアドバイスがあり、努力が実を結びつつあることを実感しました。

なお、目が不自由な方々には、音声データの作成を担当する県立島田高等学校放送部の皆さんのご協力にて「声の議会だより」を配布しており、放送部顧問の先生に対しても、心から感謝いたします。



県立島田高等学校放送部にお礼の訪問

調査しました！

あのまち、このまち

議会運営委員会所管事務調査

市民のための議会改革とは

議会改革の先進都市である埼玉県飯能市議会および福島県会津若松市議会を訪問し、調査・研究を実施しました。

●1月23日 埼玉県飯能市議会

飯能市では、ICT機器を活用した議会運営が行われています。議会資料を紙で配付していましたが、タブレットを導入したことで、紙の使用量を削減できました。また、議会内の情報伝達や議員による先進事例の調査などに活用するなど、議員による政策形成の充実が図られているとの説明を受けました。

●1月24日

福島県会津若松市議会

福島県会津若松市では、市民との意見交換会などで出された意見や情報を議会の活動に反映させる



改革が進む会津若松市議会を訪問

ため、議員間での政策討論会を実施しています。これにより調査・研究を深め予算や決算の審査資料とするほか、政策提言に結び付けるなど、議会の政策立案機能を高める「政策形成サイクル」が確立されていきました。両市議会とともに、市民のための議会改革であり、本市議会にも参考となる事例でした。

議会活動レポート

2/6
(月)

熱く語られた島田のまちづくり

島田商工会議所との意見交換会

2月6日(月)、市議会議員全員参加のもと、島田商工会議所の皆さんとの意見交換会が行われました。

まず、商工会議所が毎年市長に提出している「市行政に関する要望書(19項目)」の詳しい説明があり、議会としてもその内容を重く受け止めました。

意見交換では、市民病院の医師確保や建て替え問題、少子化に直面している幼稚園・保育園のあり方、中心市街地の活性化等、多くの意見が出され、島田市の将来を見据えた有意義な会となりました。



編集後記

平成29年2月定例会では、市長の施政方針について活発に議論が行われました。

5月には改選があり、新たな議会運営が始まります。特集記事にご協力いただきました高校生、市民ボランティアの皆さんに心から感謝申し上げます。

改選後においても「読みやすく・わかりやすく・親しみやすい」議会広報誌編集の継続を願っています。

ご愛読いただきありがとうございました。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 村田千鶴子
- 【副委員長】 山本 孝夫
- 【委員】 杉野 直樹 伊藤 孝
- 桜井 洋子 仲田 裕子
- 八木 伸雄

6月市議会定例会傍聴のお知らせ



議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！

傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場(市役所3階)へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5	6	7	8	9	10
				本会議 (初日)		
11	12	13	14	15	16	17
				本会議 (議案上程)		
18	19	20	21	22	23	24
					本会議 (一般質問)	
25	26	27	28	29	30	7/1
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (午前・厚生教育 午後・経済建設)	常任委員会 (午前・総務生活)	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
		本会議 (最終日)				

☆開会時間は…
本会議 9:30
常任委員会 午前9:00 午後1:30

あなたのパソコン・スマホで、オンラインでも傍聴できます。
水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。